

オートボックスとよはし店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

既存店舗を解体し、新たに自動車用品店と玩具店を新設する(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成27年1月29日		
店舗	店舗名称	オートボックスとよはし店	
	店舗所在地	豊橋市下地町字境田100 外3筆	
設置者	名称	株式会社クライム	
	代表者	代表取締役 陶山 尊司	
	住所	豊橋市下地町字境田88番地の1	
	その他	なし	
小売業者	名称	株式会社クライム	
	代表者	代表取締役 陶山 尊司	
	住所	豊橋市下地町字境田88番地の1	
	その他	1名(縦覧による)	
店舗面積	2,245 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	83 台 (指針台数: 83 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	20 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	24 m ²
廃棄物保管施設	位置	別紙図面のとおり	
	容量	18.75 m ³	
施設の運営	営業時間	開店	午前9時
		閉店	午後9時30分
	駐車場利用時間帯	午前8時30分から午後10時まで	
	駐車場出入口	数	3箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで		
新設する日	平成27年9月30日		

3 参考事項

敷地面積	5,086 m ²		
建築面積	1,656 m ²		
延床面積	2,992 m ²		
業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	準工業地域	—	—
備考			

オートバックスとよはし店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	繁忙時については交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F <small>S/1000×A×B×C/D</small>	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
378,873人	2,245 ㎡	1,033	14.40%	1,570 m	70.00%	2.0 人	117 台	0.706	83 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	併設施設駐車台数	来客用駐車台数	評価
93 台	10 台	0 台	0 台	0 台	83 台	○

b 指針によらない「特別な事情」による算出

なし

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
300 ㎡	13.3%	83 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	来客用駐車台数	評価
93 台	10 台	0 台	0 台	83 台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車台数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	117 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	出入口数	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	9箇所	10箇所	11箇所	12箇所
	道路種別	県道	市町村道	支路	歩道	歩道	歩道	歩道	歩道	歩道	歩道	歩道	歩道
	道路幅員	22.1m	6.5m	3.0m	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m
	歩道	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	交差点距離	21.6m	6.17m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	騒音配慮	0m	0m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	予測来台車数	103	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	道路形態	中央分離帯	双方向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	入出庫方法	左折のみ	右左折混合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	整理員	あり	あり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	評価	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	交通整理員等の配置	年間を通して混雑する時期のみ配備											

	駐車場の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

オートボックスとよはし店

(ア) 交差点需要率等の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
地点1 大賀里郵便局 交差点	需要率	0.388	0.392	○	0.359	0.360	○
	将来交通量/可能交通容量	0.449	0.454	○	0.404	0.407	○
	ピーク時間帯	14時台			14時台		
地点2 下地町境田 交差点	需要率	0.323	0.523	○	0.309	0.342	○
	将来交通量/可能交通容量	0.389	0.629	○	0.380	0.383	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		
地点3 下地町交差点	需要率	0.306	0.333	○	0.290	0.303	○
	将来交通量/可能交通容量	0.424	0.462	○	0.388	0.407	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		

出入口(b)	需要率	-	-	-	-	-	-
	将来交通量/可能交通容量	-	遅れなし	○	-	遅れなし	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		
出入口(c)	需要率	-	-	-	-	-	-
	将来交通量/可能交通容量	-	遅れなし	○	-	遅れなし	○
	ピーク時間帯	14時台			17時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

- ・オープン時・繁忙時など、混雑が想定される時は交通整理員を配置します。
- ・チラシにて案内経路を掲載して周知を図ります。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗北東側に1箇所、店舗南東側に1箇所
駐輪場の収容台数	20台
標準収容台数	65台
収容台数根拠	調査結果により必要台数を算定

駐輪場台数の予測結果と算出根拠

①「オートボックス」の必要台数算出根拠

当該計画地で現在営業中の既存店舗(オートボックスとよはし店)の実績から算出した。

オートボックスとよはし店の駐輪場利用実績データ

調査日:平成26年12月7日(日曜日)

店舗面積比率

時間帯	自転車
10:00~11:00	0
11:00~12:00	0
12:00~13:00	0
13:00~14:00	0
14:00~15:00	0
15:00~16:00	0
16:00~17:00	0
17:00~18:00	0
18:00~19:00	0
19:00~20:00	0
最大	0

計画店舗	1,253.22 m ²
既存店舗	1,348 m ²
計画店舗÷既存店舗	0.93

店舗規模は、計画店舗の面積より既存店舗の面積の方が大きいため、安全側をみて店舗面積比率は使用しないこととした。

自転車の利用はほとんどない為、必要駐輪場台数は0台とした。

オートボックスとよはし店

②「タム・タム」の必要台数算出根拠

計画店舗と店舗面積及び立地状況(幹線道路に面しており、周辺には住居及び店舗が立地)が類似している既存店舗(ホビーショップタム・タム名古屋店)の実績から算出した。

類似店舗: ホビーショップタム・タム名古屋店 店舗面積: 793.37㎡

ホビーショップタム・タム名古屋店の駐輪場利用実績データ

調査日: 平成26年12月7日(日曜日)

店舗面積比率

時間帯	自転車
10:00~11:00	0
11:00~12:00	1
12:00~13:00	1
13:00~14:00	0
14:00~15:00	6
15:00~16:00	4
16:00~17:00	4
17:00~18:00	1
18:00~19:00	0
19:00~20:00	1
20:00~21:00	2
21:00~22:00	1
最大	6

計画店舗 (タム・タム)	991.84 ㎡
ホビーショップタム・タム名古屋店	793.37 ㎡
計画店舗 (タム・タム) ÷ ホビーショップタム・タム名古屋店	1.25

必要駐輪場台数 利用実績データの最大台数 × 店舗面積比率 = 6 × 1.25 ÷ 8台

③施設全体の必要台数算出根拠

上記結果より、計画店舗の必要駐輪台数は、オートボックス0台、タム・タム8台の合計8台となり、駐輪台数20台を確保することから必要駐輪台数を充足していると考えられる。

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	收容台数	-
位置及び箇所	自動車駐車場と共用		

位置評価	台数評価
-	-

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	24㎡	なし	10分	1台	4台	○

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
11:00~12:00	4台	14:00~15:00	21:00~22:00	あり	なし	○

オートバックスとよはし店

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
なし	配置	チラシ配布	回避	回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	あり	—

※非配備の場合等の対応

—

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	—

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間内は従業員により適宜巡回を実施します。 ・店舗出入口にタグゲートを設置します。 ・人感式夜間照明を設置し、夜間店舗進入の抑止をします。 ・店内、外に防犯カメラを設置します。(設置箇所は未定)

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	なし	なし	来客車両走行音	なし	なし	なし
西方向	7 m	なし	来客車両走行音	なし	なし	なし
南方向	25 m	なし	来客車両走行音	なし	なし	なし
北方向	なし	なし	給排気口	なし	なし	なし

遮音壁の影響	遮音壁設置なし
--------	---------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばきを行うスペースを十分に確保することにより、作業の効率化を図り、騒音の低減を行います。
荷捌作業運営面での配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの徹底をします。 ・作業人員への騒音防止意識を徹底します。
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

オートボックスとよはし店

(ウ)付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	機器のメンテナンスを行い周辺への静穏保持に努めます。
給排気口等からの騒音配慮	機器のメンテナンスを行い周辺への静穏保持に努めます。
駐車場からの騒音配慮	<ul style="list-style-type: none"> 必要駐車台数を確保して、駐車待ち車両によるアイドリング等の騒音を縮減します。 駐車場内を段差のない構造にすることにより、場内走行時の騒音をなるべく軽減します。 オープン時・繁忙時には交通整理員を配置して交通整理を実施することにより駐車場内の無駄な走行を減らすように配慮します。 駐車場内での不必要なアイドリング、クラクション、空ぶかしを行わない旨の看板を設置し、騒音軽減に対する呼びかけを実施します。 営業時間外は出入口を施錠します。
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物種別毎の分別保管により、分別収集作業時間の短縮を図ります。 廃棄物収集作業時間を制限して、早朝・夜間の収集作業を禁止します。 定期的な収集を実施して、収集時間の短縮を図ります。 作業中・待機中のアイドリングを禁止するとともに、作業員の騒音抑制意識を徹底します。
経年劣化等の事後対策	機器のメンテナンスを行い周辺への静穏保持に努めます。

(エ)併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	騒音を発生する機器は、低騒音型を導入するとともに、できるだけ住居から離れた位置に配置することで騒音の影響が軽減するよう配慮します。
運営面の騒音配慮	設備機器のメンテナンスを定期的実施し、異常な騒音が出ないように配慮します。

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	33	冷却塔		給排気口	27	変電施設		浄化槽		ポンプ					
	変動騒音	冷凍機室外機		キュービクル	1												
		自動車走行	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○	BGM		アナウンス							
	衝撃騒音	ゴミ収集作業	○	アイドリング													
		荷降し音		台車走行		ピット作業音	○										
建物の構造(高さ)		鉄骨造2階建て(9.98m)															

(ア)等価騒音レベル予測

		南(A)	西(B)		
	用途地域	準工業地域	準工業地域		
	昼間基準値	60 dB	60 dB		
	夜間基準値	50 dB	50 dB		
設置者	昼間等価騒音レベル	46.9 dB	45.0 dB		
	評価	○	○		
県	夜間等価騒音レベル	12.2 dB	12.2 dB		
	評価	○	○		
	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当		
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当		

※基準値を超えた場合の対応等

基準値は下回っておりますが、苦情があった際は対応致します。

オートボックスとよはし店

(イ) 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無		無	
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か		無	
上記A・Bの具体的内容			
		南(a)	西(b)
用途地域		準工業地域	準工業地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし
基準値		50dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	13.1dB	12.8dB
	評価	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-

※基準値を超えた場合の対応等

基準値は下回っておりますが、苦情があった際は対応致します。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	特になし
衛生問題関係配慮	特になし

(ア) 小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	18.75 m ³	1日	0.467 t	0.10 t/m ³	4.67 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.016 t	0.10 t/m ³	0.16 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.013 t	0.10 t/m ³	0.13 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.045 t	0.01 t/m ³	4.50 m ³	変更なし	○
生ごみ用		2日	0.379 t	0.55 t/m ³	1.38 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		2日	0.121 t	0.38 t/m ³	0.64 m ³	変更なし	○
合計	18.75 m ³	-	-	-	11.48 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

なし

(イ) 小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

小売店舗と別途確保

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

なし

(ウ) 小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	なし
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

オートボックスとよはし店

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

(クライム)	
<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックコンテナ利用により段ボール不使用納品を推進します。 ・簡易包装の推進策としてテープを貼りレジ袋削減します。 ・可燃物は焼却後、スラグとして路盤材に再生利用します。 ・タイヤは破碎し石炭の代替えとして燃料チップとします。 ・バッテリーは回収後、希硫酸を燃料、鉛を塊(インゴット)としてリサイクルします。 ・オイルは再生重油としてセメント工場、製紙パルプ工場などで油脂燃料の代替えとしてします。 	
(タム・タム)	
<ul style="list-style-type: none"> ・使用した段ボールはリサイクルに回します。 ・簡易包装の推進策としてテープを貼ることによりレジ袋の削減を行います。 	

(エ) 廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物収集作業時間を制限して、早朝・夜間の収集作業を禁止します。 ・定期的な収集を実施して、収集時間の短縮を図ります。 ・作業中・待機中のアイドリングを禁止するとともに、作業員の騒音抑制意識を徹底します。 ・それぞれの保管施設は密閉性を確保します。
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	生ゴミ排出なし
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	生ゴミ排出なし

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	(株)明輝クリーナー (09610004144)、 (株)栄タイヤ(02300039103)、(株)丸正興産(02300138880)、 (有)ゼンユー(02320080583)、(株)トージツ(02300060345)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	食品加工場なし
併設施設からの悪臭防止対策	生ごみが発生する場合には密閉し、悪臭が発生しないように努めます。

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	<table border="1"> <tr> <td>外観・色彩等</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>環境美化活動</td> <td>○ 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行います。</td> </tr> </table>	外観・色彩等	—	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行います。
外観・色彩等	—				
環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行います。				
市町村等の公的計画への協力	豊橋市からの協力要請があれば検討します。				
照明等の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・下方配光型照明とし、天空へ光が漏れないように配慮します。また、必要最小限度の照度とします。 ・独立看板については、周辺環境に配慮し、必要以上の電飾等を避けます。 				
敷地内の緑地計画	緑地については、55.53㎡(敷地の1.09%)を確保します。				

評価
○

市町村の意見概要	対応
意見なし	-
住民等の意見の概要	対応
意見なし	-
県の意見案	
意見なし	